

## 機能変更のお知らせ

### DP2 Merrill (ファームウェアバージョン 1.05)

本製品は、ファームウェアのバージョンアップ(ファームウェアバージョン 1.05)により、以下の機能が追加・変更となります。(ファームウェアバージョン 1.05 で追加される項目に (Ver.1.05) と記しています。)

#### 1. カラーモードに「FOV Classic Blue」を追加しました。

カラーモード (P.72) に、深みのある青色を表現し、印象的な青空を再現する FOV Classic Blue モード「Fov B.」を追加しました。

#### 2. RAW / RAW+JPEG で B/W (白黒) を選択出来ます。

カラーモード (P.72) の B/W(白黒) で撮影された RAW データは、SIGMA Photo Pro ではモノクロームモードとして開かれます。また、SIGMA Photo Pro でカラー画像に戻すこともできます。(JPEG データはカラー画像には戻せません。)

##### ご注意!!

- SIGMA Photo Pro は Ver.5.5 以降がモノクロームモードに対応しています。弊社ウェブサイトより最新版をダウンロードしてご使用ください。

<http://sigma-dp.com>

- 使用説明書では、「B/W(白黒)」は JPEG (FINE, NORM, BASIC) の時のみ設定可能とありますが、RAW および RAW+JPG 時にも設定可能となっています。

#### 3. ISO 感度ステップの設定

ISO 感度の設定は、通常 1 段ステップですが、1/3 段ステップに変更することができます。

「**撮影設定**」(P.28) → 「ISO 感度ステップ」より設定します。

|            |                           |
|------------|---------------------------|
| 1 段 (初期設定) | ISO 感度を 1 段ステップで設定できます。   |
| 1/3 段      | ISO 感度を 1/3 段ステップで設定できます。 |

1/3 段に設定した場合に、設定できる ISO 感度は、以下のようになります。

| ISO AUTO | ISO 250 | ISO 800  | ISO 2500 |
|----------|---------|----------|----------|
| ISO 100  | ISO 320 | ISO 1000 | ISO 3200 |
| ISO 125  | ISO 400 | ISO 1250 | ISO 4000 |
| ISO 160  | ISO 500 | ISO 1600 | ISO 5000 |
| ISO 200  | ISO 640 | ISO 2000 | ISO 6400 |

- 「1/3 段」セットした場合、ISO オート範囲設定の下限、上限の設定値も 1/3 段ステップで設定できます。

#### 4. ISO オート範囲設定

ISO オートにおける ISO 感度の下限、および上限を設定することができます。

1 「**撮影設定**」(P.28) → 「ISO 感度」→ 「ISO オート」を選択し、**▶** ボタンを押して ISO オート範囲設定画面を表示させます。(「ISO オート」を選択した後に、**OK** ボタンを押すと、前回の設定値がセットされます。)

2 「下限」、「上限」をそれぞれ設定します。

| 下限      |                |         |
|---------|----------------|---------|
| ISO 100 | ISO 200 (初期設定) | ISO 400 |

| 上限      |                |          |
|---------|----------------|----------|
| ISO 200 | ISO 800 (初期設定) | ISO 3200 |
| ISO 400 | ISO 1600       | ISO 6400 |

##### ご注意!!

下限と上限が同じ値、もしくは逆転した値をセットすることはできません。

#### 5. クイックセットメニューがさらに使いやすくなりました。

クイックセットメニューから、「ホワイトバランス画像の取り込み」「ISO オート範囲の設定」「インターバルタイマーの設定」ができるようになりました。

##### ホワイトバランス画像の取り込み

クイックセットメニュー (P.35) のホワイトバランスの項目から「**WB**」を選択し、**□** ボタンを押して、カスタムホワイトバランス取り込み画面を表示させます。(「**WB**」を選択した後に、**OK** ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回取り込まれた設定値で撮影されます。)

##### ISO オート範囲の設定

クイックセットメニュー (P.35) の ISO 感度の項目から「ISO AUTO」を選択し、**□** ボタンを押して ISO オート範囲設定画面を表示させます。(「ISO AUTO」を選択した後に、**OK** ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回の設定値がセットされます。)

##### インターバルタイマーの設定

クイックセットメニュー (P.35) のドライブモードの項目から「**INT**」を選択し、**□** ボタンを押してインターバルタイマー設定画面を表示させます。(「**INT**」を選択した後に、**OK** ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回の設定値がセットされます。)

クイックセットメニューに、調光補正を割り当てることができるようになりました。

「**カメラ設定**」(P.28) → 「**QS カスタム設定**」(P.37) より設定してください。

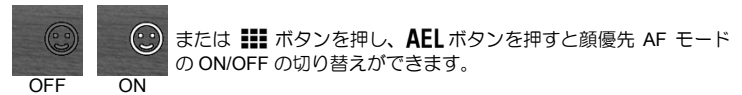
##### ご注意!!

調光補正は、フラッシュを取り付けていない状態、もしくはフラッシュの電源が OFF の状態ではご使用になれません。

#### 6. 顔優先 AF モード

DP2 Merrill は、人物の顔を検出した際に優先的にピント合わせを行う、顔優先 AF モードを追加しました。

「**撮影設定**」(P.28) → 「**顔優先 AF モード**」→ 「**入**」を選択します。(通常の AF モードが、顔優先 AF モードに切り替わります。)



画面内に顔が検出されると、オレンジ色の顔検出フレームが表示されます。

シャッターボタンを半押しし、検出された顔にピントが合うと、顔検出フレームが緑色に変わります。

- 顔検出モードでは、検出した顔に重点を置いた評価測光に切り替わります。
- 顔検出機能は画面内の最大 8 人までの顔を検出し、一番近い位置と思われる顔を優先し顔検出フレームを表示します。

##### ご注意!!

- MF モードが選択されている時は、顔優先モードにセットすることができません。
- 以下の状況では、顔の検出ができない場合があります。
  - サングラスや帽子などで顔の一部がさえぎられている場合。
  - 顔の向きが正面ではない場合。
  - ピントが大きくずれている場合。
  - 被写体までの距離が遠い、または近すぎる場合。
- 顔の検出ができない場合は、選択されているフォーカスフレームでピントが行われます。

#### 7. 速度優先 AF

オートフォーカス動作中のライブビューを停止させ、より高速なオートフォーカスを可能にする、速度優先 AF 機能を追加しました。

「**撮影設定**」(P.28) → 「**速度優先 AF**」→ 「**入**」を選択します。(通常の AF モードが、速度優先 AF モードに切り替わります。)

##### ご注意!!

オートフォーカス動作中は、ライブビューを停止させるため、シャッターボタンを半押ししてからオートフォーカスの動作が終了するまで、静止画像が表示されます。

- 通常の AF モードに戻したい場合は、「**撮影設定**」(P.28) → 「**速度優先 AF**」→ 「**切**」を選択してください。

#### 8. ファイル名変更機能の追加 (Ver.1.05)

撮影画像のファイル名を「SDIM」か「DP2M」のいずれかを選択できるようになりました。

「**カメラ設定**」(P.28) → 「**ファイル名**」より設定してください。

|             |                            |
|-------------|----------------------------|
| SDIM (初期設定) | ファイル名が「SDIMxxxx.xxx」となります。 |
| DP2M        | ファイル名が「DP2Mxxxx.xxx」となります。 |

- 途中でファイル名を変更しても、ファイル番号は前回付けられた番号の続きの番号が付けられます。
- 「**撮影設定**」(P.28) → 「**カラースペース**」で「**Adobe RGB**」が選択されている場合、ファイル名の「SDIM」は「\_SDI」、「DP2M」は「\_P2M」となります。

#### 9. その他の変更点

- 液晶モニタの表示を「アイコン非表示」にした場合でも、フォーカスフレームが表示されるようになりました。
- 「**中央 AFL**」「**中央 AFL+ AEL**」(P.67) を割り当てた AEL ボタンを押した際でも、AF+MF モード (P.51) が機能するようになりました。
- 画像を拡大表示する際、画像の中心が拡大表示されていましたが、フォーカス位置を基準に拡大表示されるようになりました。( Ver.1.05 )
- 再生時の画像情報スクリーン (P.85) にファイルサイズが表示されるようになりました。( Ver.1.05 )

